

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技 【結果速報】

試合 M18 準決勝

駆け上りの水球の舞臺へ 燃え上る若人の魂

【2024/8/19】

埼玉栄	19	[3 5 3 2 6	- - - - PSO	4 3 3 3 5]	18	四日市 中央工
審判1 坂井 奎太 審判2 西村 尚史								

PSOによる被シュート数、失点およびセーブ率は含まれていません

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	大木 悠吉	39	13	50%
GK13	山口 大和	0	0	

No.	Name	被シュート数	失点	セーブ率
GK1	尾上 黎真	0	0	
GK13	湯浅 心晴	40	13	55%

PSOによるシュート数、得点は下記表には記載していません

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	大木 悠吉			
2	池田 大空			
3	吉川 道太郎	5		1
4	稲垣 拓哉	7	1	2
5	菊池 俊来	6	5	2
6	曾根 翔英			
7	茂呂 明			
8	松原 知希	4	2	
9	久保田 開智	1		
10	和田 惇希	4	1	1
11	皆川 大空	6	2	2
12	市野 玄大	7	2	2
GK13	山口 大和			

No.	Name	シュート数	得点	PF数
GK1	尾上 黎真			
2	庄山 優	12	6	
3	山崎 唯			2
4	松田 弦皇	8	3	1
5	園田 晴大	6	1	1
6	川原 海			
7	山本 凌太郎	6	1	
8	伊藤 大和			
9	小坂 悠哩			
10	伊藤 絆夏			
11	大賀 碧生	3		
12	山内 康平	4	2	1
GK13	湯浅 心晴			

令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

第92回日本高等学校選手権水泳競技大会

<https://j-waterpolo.net/24OhitaH/index.html>

水球競技 リザルトWebサイト



令和6年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第92回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和6年8月19日（月）
会場：大分商業高等学校 水球プール

ゲームNo.

18

帽子の色 白

帽子の色 青

埼玉栄

19

3 - 4
5 - 3
3 - 3
2 - 3
6 PSO 5

四日市中央工業

18

審判1： 坂井 奎太

審判2： 西椋 尚史

戦評

9年ぶりに決勝進出を目指す埼玉栄と西京とのPSOの末に準決勝を迎える四日市中央工業の対戦。

第1ピリオド、白、埼玉栄からのセンターボールで試合開始。

青②庄山、パスカットから退水を誘発し得点。立て続けに2点目のミドルシュートを叩き込む。3:2カウンター角度のないポジションから青⑦山本がシュートを放ち得点。白⑧松原、退水を誘発し⑤菊池が決める。青⑫山内、フリースローシュートで得点。白⑤菊池、ゴール前からフックシュートを放ち得点。青⑩園田、退水を誘発するも得点に繋がらない。白⑧松原、退水を誘発するもGK⑬湯浅が連続でシュートを止める。青②庄山、ゴール前で退水を誘発するも得点に繋がらない。3:2カウンターから白⑤菊池が得点。第2ピリオド、3:2カウンターから白⑩和田がボールを持ち込みGKの頭上を抜くシュートを決める。青⑪大賀、退水を誘発するも得点に繋がらない。素早い攻撃から白④稲垣⑩和田がボールを繋ぎ⑫市野がシュートを決める。白④稲垣、フェイクで相手GKを揺さぶり冷静にループシュートを決める。カウンターから青④松田が逆コーナーポスト直撃のシュートを決める。青④松田のアシストパスを受けた②庄山が左サイドからバウンドシュートを決める。白⑤菊池、ゴール前からフックシュートで得点。青②庄山、ゴール前でフローティングからシュートを放ち得点。白⑤菊池、ゴール前で退水を誘発し⑪皆川が得点。互いにスピードある展開から攻撃を繰り出し、埼玉栄1点リードで第3ピリオドを迎える。

第3ピリオド、5:4カウンターから青④松田が相手GKのタイミングを外したシュートを放ち得点。青⑦山本、退水を誘発するもGK①大木が好セーブ。白⑧松原、PFを誘発し⑤菊池が決める。カウンターから白⑧松原がシュートを決める。白②池田、退水を誘発し⑪皆川がポスト直撃のシュートを叩き込む。青②庄山、ポスト右上に直撃のミドルシュートを決める。青⑦山本、パスカットから退水を誘発し⑤園田、相手ハンドアップの脇下を抜く技ありシュートで得点。

第4ピリオド、青④松田、退水を誘発しボールを持ち込み得点。白⑧松原、カットインから得点。青②庄山、ゴール前で退水を誘発するもGK①大木が好セーブ。2:1カウンターから白⑫市野が得点。青⑨小坂、PFを誘発し②庄山が得点。青④松田、退水を誘発し⑫山内がフェイクシュートを決める。27秒、埼玉栄T0。GKも攻撃参加しシュートを放つが、13-13の同点でPSOとなる。

PSO6-5となり、埼玉栄が9年ぶりに決勝進出を決める。四日市中央工業は、3位決定戦にまわることになった。互いに素早い速攻から多彩な攻撃を披露し会場の観客を魅了した。